

建設 DX 展へ出展 新しい XR コンテンツを公開

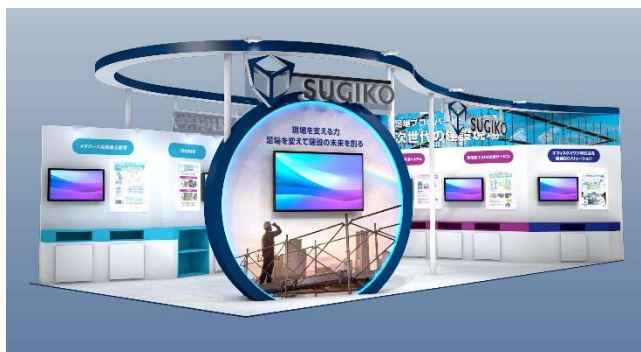
2025 年 12 月 3 日
株式会社 杉孝

仮設機材レンタル事業を行う株式会社 杉孝（本社：神奈川県横浜市 代表取締役社長：杉山 亮）は、建設に関連する DX 技術の専門展示会「第 5 回 建設 DX 展 東京」に出展します。

SUGIKO が本展示会に出展するのは今回で 3 回目。出展の度に新しいコンテンツを公開してきました。今回初公開するコンテンツは、VR（仮想現実）技術を活用した、現場の安全管理方法を習得できるプログラムです。来場者は現在開発中のトライアル版を体験いただけます。受講者は VR の中で現場監督者となり、不安全な状態の足場や不安全行動をしている人を発見し、安全な状態へと改善していく過程で、安全管理のポイントを学ぶことができます。不安全ポイントは 26 種類搭載予定で、実際にお客様の現場で発生した事例を参考に行うため、実務に沿った内容になっています。複数人の受講者が同時に VR 空間に入った場合はメタバース（仮想世界）となり、複数人同時に受講可能になる機能も準備中です。受講終了後には振り返り機能があり、適切な巡視ができたのか再確認し、学習の定着をサポートします。

また、昨年に引き続き技術サービスについても展示します。対応案件数が増加傾向にある足場施工 BIM 支援サービス、3D スキャンサービス、さらにはオフィスケイワン株式会社（橋梁向け BIM/CIM システムの開発や販売を行う会社。昨年 10 月に SUGIKO と経営統合。）が新しく開発した 3D 設計支援システム等をご紹介します。技術サービスにおける初公開コンテンツは、お客様からの要望を実現した＜作成した足場 BIM モデルを VR に変換して施工前に確認できるサービス＞です。VR 上で作業員目線に立って足場を確認することで、2D/3D 図面よりも直感的に細部の組み方の検討や、作業性・危険箇所の確認ができるようになり、安全で最適な足場の施工を支援します。また、お客様の現場で実際に組み立てる足場を VR 変換するため、現場の特徴をそのまま活かしたお客様のための危険体感訓練が可能になり、教育への活用も期待できます。これらは、足場施工 BIM 支援サービスの一環として、来年よりご希望されるお客様へ提供予定です。来場者は VR ゴーグルを装着し、デモ映像をお試しいただけます。

人手不足や働き方改革の影響を受け、建設業界における DX の重要性は高まっています。SUGIKO は建設現場で働く人の安全と効率のため、今後も DX 技術を取り入れたサービスの開発、提供、改良を続けます。本展示会を通じて、SUGIKO の DX サービスを広くお伝えし、より多くの現場の安全と効率に貢献できるよう努めます。



ブースイメージ



仮想世界で複数人同時に安全管理プログラムを受講する様子

<第 5 回 建設 DX 展 東京 概要>

開催期間：2025 年 12 月 10 日(水)～12 月 12 日(金) 10：00～17：00

入場料：無料（事前の来場登録をお願いします）

会場名：[東京ビッグサイト](#) 南展示棟 4F 南 3・4 ホール 小間番号 47-18

（このプレスリリースに関するお問合わせ）

株式会社杉孝 総務課 広報担当：福家（ふけ）・豊田（とよた）

TEL:[045-444-0835](tel:045-444-0835) MAIL:soumu@sugiko.co.jp